

早稲田大学 人間科学部
2022年度 入試問題の訂正内容

<人間科学部 一般選抜>

【日本史】

●問題冊子9ページ：Ⅲ 問6 選択肢才

(誤)

～名古屋・大坂間で・・・

(正)

～名古屋・新潟間で・・・

以上

日 本 史

(問 題)

2022年度

〈R04163319〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は4～15ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

日本古代史を研究する上での基本史料としては、『日本書紀』とそれに続いて書かれた5つの正史があり、あわせて六国史と呼ぶ。正史は国家によって「正式」に編まれた歴史書であることから、編纂時点での知識で書き改められたり、潤色されたり、権力者にとって都合のよいように書かれている可能性がある。

特に『日本書紀』には注意が必要であり、神話の世界の話から書き出されている。『古事記』の神話とあわせてこれらは記紀神話と呼ばれる。そのうち、例えば出雲の大国主命から天照大神の子への「国譲り」は、ヤマト政権の勢力拡大にともなう何らかの歴史的事象を反映している可能性はあるものの、そのまま史実とすることはできない。後の天皇家による日本列島支配の正統性を、神話によって示すために組み込まれた物語であるということ踏まえる必要がある。

六国史のうち『続日本紀』以降の歴史書は神話的な物語というわけではないが、ここでも歴史書ならではの留意点がある。『続日本紀』の撰者の1人である 1 による797年の上表文からは、『続日本紀』は「米塩」の事、すなわち日常の食事のことなどは煩わしいので記述しないという編纂方針がとられたことが知られる。また、叙任や死去などに際して個人の記録が記されるのも、原則として五位以上の貴族に限られていた。

このように正史は、誰かの手によって掲載されるべき史実が選別され、何らかの意図をもって編纂されていることを踏まえて扱わなければならない。そして古代の史料は、当時書かれた原本がそのまま遺されているとは限らず、例えば律令の追加法である格は、正史や『類聚三代格』などに所収される形で伝えられていることへの目配りも求められる。

正史などの編纂された史料を二次史料と呼ぶ一方、当時の人によって書かれたそのままの文字が遺されたものが一次史料である。一次史料は当事者が現場で書きのこしたものであるという点で貴重であり、二次史料の問題点を補うことができる。様々な史料の複合的な検討が進むことで、豊かな歴史像が明らかになるのである。

問1 下線部 a に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 舎人親王らによって編纂された。
- イ 漢文編年体で書かれている。
- ウ 天武天皇の時代に始められた国史編纂事業を引き継ぐ形で完成した。
- エ 江戸時代に本居宣長が全体にわたる注釈書を著した。
- オ 近代歴史学をもとに津田左右吉が史料批判を行った。

問2 下線部 b に関連して、以下の事例はすべて『日本書紀』に描かれたものであるが、そのうち潤色を加えられていないと考えられるものはどれか、1つ選べ。

- ア 神功皇后による三韓征伐について描かれている。
- イ 高句麗・百済・新羅が日本に朝貢しているものとして描かれている。
- ウ 朝鮮半島南部の任那が日本の領土として描かれている。
- エ 大化改新において、豪族の私有地・私有民が廃止されたものとして描かれている。
- オ 百済からの亡命者の指導の下で大野城が築かれたと描かれている。

問3 下線部 c の地域に所在する遺跡として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 纏向遺跡 イ 加茂岩倉遺跡 ウ 池上曾根遺跡 エ 唐古・鍵遺跡 オ 須玖岡本遺跡

問4 下線部 d の時代に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 蘇我馬子が物部守屋を滅ぼし、さらに崇峻天皇を暗殺して権力を握った。
- イ 白村江の戦いに際して、軍団の兵士が派遣された。
- ウ 舒明天皇の時代に白鳳寺院と呼ばれる寺院が地方にも広がった。
- エ 仏教の原始的な形態である加持祈禱が盛んに行われた。
- オ 杭州に都をおいた呉越国と日本との間で交易が行われた。

問5 空欄 1 に該当する人物名として正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 菅原道真 イ 藤原公任 ウ 早良親王 エ 菅野真道 オ 大津皇子

問6 下線部 e に関連する次の I～IV の出来事を古い順に並べたものとして、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- I 『令義解』が完成した。
 - II 飛鳥浄御原令が定められた。
 - III 養老律令が成立した。
 - IV 『延喜格式』が完成した。
- ア I→IV→III→II イ II→III→I→IV ウ II→III→IV→I
エ II→IV→III→I オ III→II→I→IV カ III→II→IV→I

問7 下線部 f に関連して、以下の法令に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

詔して曰く、「聞くらなく、墾田は養老七年の格に依りて、^{かきり}限満つる後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地^ま復た荒る。と。今より以後は、^ま任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、^{みなことごと}咸悉くに永年取る^{なか}莫れ。其の親王の一品及び一位は五百町、(中略)初位已下庶人に至るまでは十町(後略)」と。

- ア この法令は、『続日本紀』に所収されている。
- イ この法令中の「養老七年の格」とは、三世一身法である。
- ウ この法令では、位階による開墾制限が設けられている。
- エ この法令により律令国家は、掌握する田地を増加させることが可能となった。
- オ この法令により、貴族は荘園の寄進を受けることが可能となった。

問8 下線部 g に関連する記述として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 神原神社古墳から銅鏡が出土したことにより、魏の皇帝から賜与された銅鏡を卑弥呼が各地の豪族に配布した可能性が指摘された。
- イ 『隋書』倭国伝の内容から、『日本書紀』に記載される小野妹子を大使とする遣唐使が、倭による最初の隋への遣使であることが確認された。
- ウ 「正倉院文書」の分析が進み、造東大寺司のもとで行われた写経事業の実態が明らかになってきた。
- エ 「長屋親王宮鮑大贄十編」と書かれた木簡が発見されたことで、長屋王邸の位置が確定した。
- オ 『小右記』や『御堂関白記』などの分析が進み、摂関家の家政機関で国政が行われていたとする説が否定された。

Ⅱ 次の史料と文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

[史料]

1 丁亥ノ歳、天下大ニ動乱シ、ソレヨリ永ク五畿七道悉ク乱ル。其起ヲ尋ルニ、尊氏將軍ノ七代目ノ將軍 2 公ノ天下ノ成敗ヲ有道(注1)ノ管領ニ不任、只御台所、或ハ香樹院、或ハ春日局ナド云、理非ヲモ不弁、公事政道ヲモ不知給青女房・比丘尼(注2)違計ヒトシテ、酒宴淫樂ノ紛レニ申沙汰セラレ(中略)此ノ如ク錯乱セシ間、畠山ノ両家〈義就・政長〉モ、文安元年甲子ヨリ今年ニ至ル迄廿四年ノ間ニ、互ニ勘道(注3)ヲ蒙ル事三ケ度、赦免セラルル事三ケ度ニ及ブ。何ノ不義ナク又何ノ忠モナシ。依之京童諺ニ勘道ニ科ナク赦免ニ忠ナシト笑ヒケル(中略)

嗚呼、鹿苑院殿御代ニ倉役四季ニカカリ、普広院殿ノ御代ニ成、一年二十二度カカリケル。当御代臨時ノ倉役トテ、大嘗会ノ有リシ十一月ハ九ケ度、十二月ハ八ケ度也。又彼借錢ヲ破ラントテ、前代未聞 3 ト云事ヲ此御代二十三ケ度迄行レケレバ、倉方モ地下方ヘ皆絶ハテケリ。サレバ大乱ノ可起ヲ、天予メ示サレケルカ、寛正六年九月十三日夜亥ノ刻ニ、坤方ヨリ長方エ光ル物飛渡ケル(中略)

不計、万歳期セシ花ノ都、今何ゾ狐狼ノ伏土トナラントハ。適残ル東寺・北野サヘ灰土トナルヲ。古ニモ治乱興亡ノナラヒアリトイエドモ、 1 ノ一変ハ仏法王法トモニ破滅シ、諸宗皆悉ク絶ハテヌルヲ、不堪感歎、飯尾彦六左衛門尉、一首ノ歌ヲ詠ジケル。

汝ヤシル 都ハ野辺ノ 夕雲雀 アガルヲ見テモ 落ルナミダハ

(注1) 有道…正しい道にかなっており、徳をそなえているさま。(注2) 青女房・比丘尼…年若く未熟な女性や尼。(注3) 勘道…勘当。勘気を蒙ること。

上の[史料]は、15世紀後半に起きた 1 の乱の原因や合戦の様子などを記した軍記物語の一節である。もちろん文学作品であるから、ここに記されたことをそのまま史実として無批判に信じることはできない。しかし、 1 の乱からさほど下らない時期に別の記録をもとにして記されたため、乱についての同時代の人々の受け止めをある程度反映しており、概して信憑性が高いとされる。この戦乱に始まる社会の混乱は、15世紀の終わりまでには決定的となる権力の分裂をもたらし、次の時代へと移り変わるきっかけとなった。そしてその変化は、15世紀前半に始まった 3 一揆が大規模化し、將軍 2 の時代に、毎年のように起こるようになった状況とも深く関わっていたのである。

問1 空欄1に該当する年号に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア この年号のときに、幕府は大内義弘を討伐した。
- イ この年号のときに、山名氏清が蜂起し、敗れた。
- ウ この年号のときに、南北朝が分裂した。
- エ この年号のときに、山名持豊と細川勝元が戦いを始めた。
- オ この年号は、明治より前では最も長く35年続いた。

問2 空欄2に該当する人物に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 明との国交・勘合貿易を中止した。
- イ 將軍となって1年も経たぬうちに夭折した。
- ウ 京都の東山に山荘を造営した。
- エ 神意をうかがうとした籤によって將軍となった。
- オ 明応の政変で細川政元によって擁立された。

問3 下線部 a の抗争が長く続いていたことに対し、両軍の退去などを求めて国人や土豪が一揆を結び、その後8年間、三十六人衆と呼ばれた国人衆による支配が行われた地域はどこか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 加賀 イ 越前 ウ 伊賀 エ 安芸 オ 近江

問4 下線部 b に関連して、当時の幕府の財源に該当しないものはどれか、1つ選べ。

ア 貨幣改鑄益金 イ 酒屋役 ウ 関銭 エ 抽分銭 オ 津料

問5 下線部 c の出来事を古い順に並べたものとして正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

I 永享の乱

II 嘉吉の変

III 結城合戦

ア I→II→III イ I→III→II ウ II→I→III

エ II→III→I オ III→I→II カ III→II→I

問6 空欄 3 に該当する語はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 国人 イ 一向 ウ 法華 エ 徳政 オ 代始

問7 下線部 d に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 都の鬼門にあたる北東の方角から火の玉が飛んできて、人々はそれを不吉だと恐れた。

イ 南東の方角から北西の方角にかけて飛んだ光る物体によって、都はすべて焼けてしまった。

ウ 光り輝く金銀財宝がまるで飛ぶように都に運び入れられ、人々はそれを争って求めた。

エ 彗星の接近と考えられる現象を覩て、人々はそれを大乱の終結を示す吉兆と考えた。

オ 隕石の落下と考えられる現象が起き、人々はそれを大乱の起こる前兆と考えた。

問8 下線部 e に該当しないものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 平治物語 イ 平家物語 ウ 海道記 エ 陸奥話記 オ 太平記

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

江戸時代の流通の発達、市場の形成、商業・金融の発展と深く関わっていた。大量輸送には船が利用された。河川や湖沼など内水面の舟運としては、17世紀初め、朱印船貿易で財をなした **1** の豪商 **2** が富士川・天竜川・大堰川（保津川）・高瀬川などを整備した。淀川・利根川・信濃川や琵琶湖・霞ヶ浦では中型船や小舟を用いた舟運が発達した。また、各地の舟運と陸上交通を結ぶ地点には河岸（船着場）が設けられた。

海上の舟運としては、17世紀前半に菱垣廻船が大坂から江戸へ商品を運送し始めた。17世紀後半になると、江戸の商人河村瑞賢が、**3** を起点とし江戸に至る東廻り航路と、**4** ・ **5** を経て大坂に至る西廻り航路を整備した。18世紀前半には、大坂・江戸間で樽廻船が新たに運航を始めた。また、**d** 北前船や内海船など遠隔地を結ぶ廻船が発達した。

海運が活発になり、江戸・大坂・京都の三都をはじめ各地の城下町・港町を中心にして、商品流通の全国的な市場が形成されると、商業・金融が発展するようになった。流通の担い手であった問屋は、十組問屋や二十四組問屋のような連合組織を結成した。また、**6** のような商人は両替商を兼ねて発展し、有力なものは大名貸や公金の取り扱いを行うようになった。

問1 空欄1・2の地名・人名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ア 1 京都・2 角倉了以 | イ 1 京都・2 末吉孫左衛門 |
| ウ 1 摂津平野・2 角倉了以 | エ 1 摂津平野・2 末吉孫左衛門 |
| オ 1 堺・2 角倉了以 | カ 1 堺・2 末吉孫左衛門 |

問2 下線部aに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 東海道の富士川の渡しは架橋・渡航が禁じられ、川越人足による渡渉が行われた。
- イ 東海道の天竜川の渡しは架橋が禁じられ、渡船場がおかれた。
- ウ 大堰川（保津川）は丹波から京都への水運であった。
- エ 高瀬川は高瀬船の運航にちなんで名づけられた。
- オ 高瀬川は京都・伏見間に開かれた。

問3 下線部bに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 船の舷側を菱形の垣で囲ったので、この名が付けられた。
- イ 弁才船（千石船）と呼ばれる大型の木造帆船が使われた。
- ウ 木綿や油などを輸送した。
- エ 江戸から大坂に運ばれた物資は「下り荷」と呼ばれた。
- オ 堺の商人が始めたと言われる。

問4 空欄3・4・5の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 3 秋田・4 高知・5 和歌山
- イ 3 松前・4 敦賀・5 和歌山
- ウ 3 出羽酒田・4 下関・5 瀬戸内海
- エ 3 秋田・4 高知・5 瀬戸内海
- オ 3 松前・4 敦賀・5 長崎
- カ 3 出羽酒田・4 下関・5 長崎

問5 下線部 c に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 東北地方の幕府直轄地の年貢米を大坂に運んだ。
- イ 重量がある酒樽などを船底から積み上げて船を安定させた。
- ウ 酒以外の商品を上積み荷物として輸送したが、荷役に時間がかかった。
- エ 不定期に運航された。
- オ 菱垣廻船との争いに敗れて衰退した。

問6 下線部 d に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 北前船は松前や日本海沿岸に寄港し、蝦夷地や東北の産物を大坂などに運んだ。
- イ 北前船の船主は自分で物資を買い積む方式が中心であった。
- ウ 北前船は西廻り航路を運航した。
- エ 内海船は遠隔地と取り引きできない在方商人から産物を買って、価格の高い地域で売った。
- オ 内海船は尾張国知多半島の内海村を拠点とし、名古屋・大坂間で運航された。

問7 下線部 e に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 十組問屋は大坂の仕入問屋である。
- イ 十組問屋は菱垣廻船問屋の支配下におかれた。
- ウ 十組問屋に酒店組が加わって樽廻船を利用するようになった。
- エ 二十四組問屋は江戸の江戸積問屋である。
- オ 二十四組問屋は十組問屋の注文に応じて商品を仕入れ、菱垣廻船問屋に運送を委託した。

問8 空欄 6 に該当しない語はどれか、1つ選べ。もしすべて該当する場合には、力をマークせよ。

- ア 三井家 イ 鹿島屋 ウ 天王寺屋 エ 平野屋 オ 鴻池家

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

日清戦争に勝利した結果、講和条約（下関条約）^aにより遼東半島・台湾・澎湖諸島の清からの割譲が決まり、日本は最初の植民地を得ることとなった。実際には遼東半島は領有されることがなかったので、国内外から台湾は日本の植民地経営の試金石と考えられた。日本の台湾支配は、現地の中国系住民による「1」の独立宣言や、山地系先住民の激しい抵抗を受けた。これらの抵抗運動^bを武力鎮圧し、台湾全土の実効支配がほぼ確立したのは1902（明治35）年とされ、約7年を要したことになる。このような経緯もあって、その支配は当初から厳しい軍政下におかれ、その支配機関である台湾総督府も軍人が総督に就任するものであった。

次に獲得した植民地経営の拠点は、日露戦争により得た、北緯50°以南のサハリン島の領有権、および旅順・大連の租借権であった。合わせて日本は長春以南の鉄道とその付属権益^cも得ている。両地域は、ロシアと中国に対する軍事拠点としての性格もあった。サハリンは樺太と呼び換えられ、日本初の陸上国境が生じた南樺太の支配機関として設置された樺太庁も、初代長官は軍人であった。また、遼東半島の再獲得は、三国干渉による「臥薪嘗胆」^dの思いを解き放つ快挙と受けとられた。その後、遼東半島は「2」^eとよばれるようになり、満州軍総司令官のもとに関東総督府（後に関東都督府と改称）が設置された。軍政のもとに植民地支配が展開したのは、台湾と同様である。

一方、日清・日露戦争とその勝利を機会として巧みに利用しながら、しだいに朝鮮半島への干渉を強めていった日本は、日韓議定書と数次にわたる日韓協約により内政権を握り^e、事実上の軍事占領下におくことで韓国併合^fを強行していった。併合以前から徴税制度や土地制度の改革に着手していた日本側の支配は、併合後、「3」^gである東洋拓殖会社を設立することで、土地調査事業を実施するなど、朝鮮を急速に資本主義経済に組み込んでいった。調査により生まれた国有地を現物出資されるかたちで土地集積を進めた東洋拓殖会社は、朝鮮最大の地主として営農・灌漑・金融などの事業を行い、植民地の経済利用が進んでいった。

世界を分割して宗主国の領土にしたり統治下におこうとしたりする植民地主義には、国家の威信を高めるという政治的要因のほかに、自国の産業に関わる原料の供給地と製品の市場を確保する経済要因^gもある。日本の植民地が、どの程度まで国家に経済的繁栄をもたらすことに貢献したかについては、むしろ否定的な見解が多いであろう。近隣国との戦争の勝利の結果、軍勢力を背景として形成・維持が可能となった日本の植民地支配^hは、明治維新以降の目標「富国強兵」を端的に見えるかたちとし、イギリス・フランスなどの帝国主義国家を模すことで「一等国」たらんとした近代日本の政策・外交の「危うい果実」であった。

問1 下線部 a に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 日本側は伊藤博文・陸奥宗光、清側は李鴻章が全権であった。
- イ 清は、旧来の宗属関係を断絶し、朝鮮の自主独立を認めた。
- ウ 清は、軍費賠償金として二億両の支払いを約した。
- エ 条約締結後の遼東半島返還にともない、代償金を清から受け取った。
- オ 両国間の通商航海条約締結が明記され、翌年には平等条約が結ばれた。

問2 空欄 1・2 に該当する語の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア 1 台湾民主国・2 沿海州 | イ 1 台湾民主国・2 関東州 |
| ウ 1 台湾民主国・2 満州 | エ 1 清国福建台湾省・2 沿海州 |
| オ 1 清国福建台湾省・2 関東州 | カ 1 清国福建台湾省・2 満州 |

問3 下線部 b に関して、日本や欧米諸国の植民地主義に対して東アジア各地で起こった動きⅠ～Ⅲを、古いものから並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

Ⅰ 五・三〇事件

Ⅱ 義兵闘争

Ⅲ 五・四運動

ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問4 下線部 e に関して述べた記述Ⅰ～Ⅲの正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

Ⅰ アメリカの鉄道王ハリマンは、長春・大連間の鉄道を買収し合弁経営を計画した。

Ⅱ この利権をもとに、日本は東清鉄道株式会社を設立し、初代総裁は後藤新平であった。

Ⅲ この鉄道は、沿線の鉱山・炭鉱や鞍山製鉄所などの経営の中核となった。

ア Ⅰ正・Ⅱ正・Ⅲ誤 イ Ⅰ正・Ⅱ誤・Ⅲ正 ウ Ⅰ誤・Ⅱ正・Ⅲ正

エ Ⅰ誤・Ⅱ誤・Ⅲ正 オ Ⅰ誤・Ⅱ正・Ⅲ誤 カ Ⅰ正・Ⅱ誤・Ⅲ誤

問5 下線部 d の勧告にあたり、日本がもっとも介入・支援を期待していた国はどこか、1つ選べ。

ア アメリカ イ イギリス ウ イタリア エ ドイツ オ ポルトガル

問6 下線部 e に関して、韓国が内政権を失った段階として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 日韓議定書 イ 第一次日韓協約 ウ 第二次日韓協約

エ 第三次日韓協約 オ 韓国併合

問7 下線部 f の際の日本の首相は誰か、1つ選べ。

ア 西園寺公望 イ 大隈重信 ウ 山県有朋 エ 山本権兵衛 オ 桂太郎

問8 空欄 3 に該当する語として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 官営事業 イ 政商 ウ 国策会社 エ 持株会社 オ 産業組合

問9 下線部 g に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 台湾に日本が期待した産業のひとつが、砂糖の生産であった。

イ 樺太の産業は漁業・林業・鉱業が注目され、とくにパルプ・製紙業が進出した。

ウ 関東州では、その北の中国領内に延びる鉄道と付属利権の確保がねらいとなった。

エ 朝鮮からは、植民地となる前の時期から日本への綿糸の輸入量が伸びていた。

オ 明治期以降、人口増加傾向にあった日本は、台湾や朝鮮からの米の移出に期待した。

問10 下線部 h に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 台湾総督府の初代総督には、海軍軍人の樺山資紀が任命された。

イ 後に植民地行政で活躍した後藤新平は、初の民間出身の台湾総督となった。

ウ 関東都督には現役の陸軍武官が任命され、統治機関である関東庁長官を兼ねた。

エ 日韓協約に基づく統監府の初代統監には、陸軍から寺内正毅が任命された。

オ 後に朝鮮では、文化政治の要となる憲兵警察を廃止した。

V 次の文章および史料A～D・図Aを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

日本列島の食文化をめぐる歴史をたどってみることにしよう。

約1万3,000年前に始まった縄文文化の特徴の1つは土器の出現である。土器は食物の煮炊きや貯蔵などに用いられ、この時代の食文化に関わる重要な道具であった。縄文時代には狩猟・採集だけでなく、食料にする植物の管理・保護・栽培が行われていた。それは植物性食料の調理法や道具の進展でもあった。

縄文時代晩期（弥生時代早期）には九州北部で水稲耕作が開始された。弥生時代・古墳時代の食文化は、水稲耕作とともに陸稲・雑穀の栽培などによって支えられていた。

古代の宮都の食文化については、出土した木簡によってその一端を知ることができる。史料A①は746年に伊豆国賀茂郡三嶋郷から税として納められた「堅魚^{かつお}」の付札であり、②は747年に備中国賀夜郡阿宗里^{あそ}から納められた田租・正税を加工したものの付札である。いずれも **1** から出土したものである。

史料A

- ① (表) 伊豆国賀茂郡三嶋郷戸主占部久須里戸占部廣庭 **2** 籠堅魚拾壹斤
(裏) 拾両 員十連三節 天平十八年十月
- ② (表) 備中国賀夜郡阿宗里 **3** 五
(裏) 斗 天平十九年二月九日

日本の食文化の中で中国からもたらされたものの1つに茶がある。史料Bは鎌倉時代に3代将軍実朝が病気のときに、僧侶が茶と茶の薬効を説いた書物を献上した記事である。この時代の茶は薬としての用法が主であった。

史料B

将軍家いささか御病惱。諸人奔走す。但し、ことなる御事なし。(中略)ここに葉上僧上御加持に候ずるところ、この事を聞き、良薬と称し本寺^cより茶一盞を召し進じ、一卷の書を相副え献ぜしむ。

〔『吾妻鏡』建保2年(1214)2月4日〕

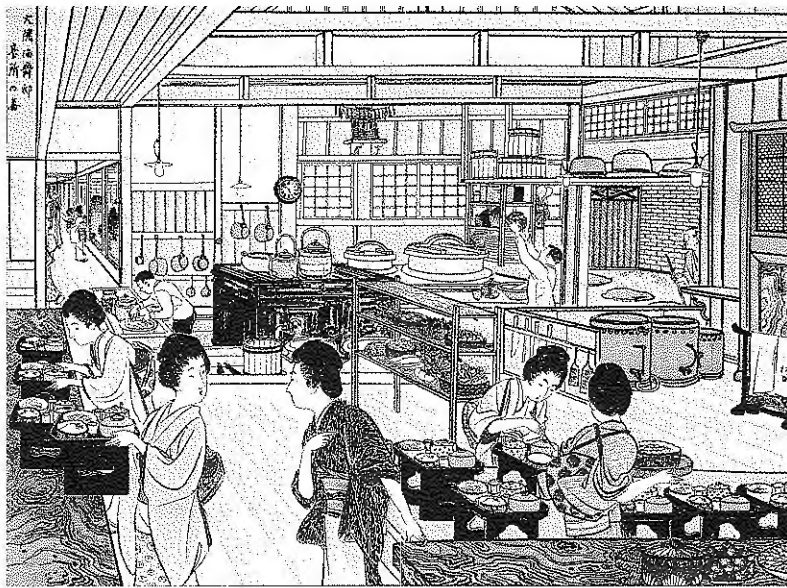
室町時代には日本の伝統文化を代表する茶道(茶の湯)の基礎がつくられ、侘茶が創出されるようになる。その後、江戸時代には茶は商品作物の1つとなり、嗜好品としての茶が広がっていった。

江戸時代には、城下町や在郷町の問屋や市場を通じて商品の取引が行われるようになり、各地に特産物を生む諸産業が発達して商品流通が活発化した。とくに、醸造業・製塩業・漁業などの特産物は、日本の食文化の形成に大きな役割を果たした。

近代以降、「日本の食文化」のもっとも大きな変化は、西洋化のなかにあった。文明開化の時期に散切り頭で牛鍋を食べる男性のイメージは、教科書にもよく採り上げられている。しかしながら、幕末の開国で横浜に現れた異国の風俗を描いた一連の浮世絵「横浜絵」に紹介された異人の台所には、「獣の匂ひ 脂臭ハ 止事なし」と匂いへの強い違和感を綴った文が絵に添えられていた。衣食住のなかでも、とくに食文化や味覚・嗅覚の保守性というものは強固であって、明治時代半ばに至っても一般家庭の台所に文明開化の影響が及ぶことはほとんどなかった。

このような状況が変わり始めるのは、西洋風の生活様式にふれる機会が多かった成功した実業家や政治家たち、いわゆる「ハイカラ」な生活を代表する「上流階級」の台所からである。図Aは、前島密らによって創刊されやがて立憲改進党の機関紙となった『**4**』が、後に改題した後継紙において編集長を務めたジャーナリストであり、小説家でもあった村井弦齋が著し、1903(明治36)年より刊行されたロングセラー料理小説『食道楽』の巻頭に掲載されたものである。この山本松谷の実写による口絵は、「理想」「憧れ」として話題になった「大隈伯爵家の臺所」を描いたもので、弦齋が解説している(史料C)。『食道楽』の口絵と解説には、岩崎弥之助男爵家の2層構造だった台所紹介もあり、日本料理用の上層階と西洋料理用の下層階に分かれていた姿を知ることできる。

図A



※早稲田大学図書館所蔵

史料C 臺所は昨年の新築になり (中略) 其の廣さ二十五坪、半ば板敷半はセメントの土間にして、天井に凡そ四坪の硝子明取りあり (中略) 鼠の竄入せざると、全體の衛生的なるとは此の臺所の特長なり (中略) 土間の中央に一大ストーブの据えられたるを見む、是れ英國より取寄せられたる瓦斯ストーブにて、高さ四尺、長さ五尺、幅貳尺あり、此の價貳百五十圓なりと云ふ、ストーブの傍に大小の大釜兩個あり、釜の此方に厨人土間に立ちて壺を棚に載せ、厨人の前方、板にて圍いたる中に瓦斯竈三基を置く、中央の置棚に野菜類の堆く籠に盛られたるは、同邸の一名物とせらるる温室仕立ての野菜なり、三月に瓜あり、四月に茄子あり、根葉果莖一として食卓の珍ならざるは無し (中略) 此臺所にては、毎日平均五十人前以上の食事を調ふ、百人二百人の賓客ありても、千人二千人の立食を作るも皆な此にて事足るなり、 (中略) 文明の生活をなさんものは文明の臺所を要す、和洋の料理をなさんものは宜しく此の新考案を學ぶべし

このように、明治期後半はまだ一部の富裕層にとどまっていた西洋風の食文化が、都市部の一般家庭に入り始めるのは、大正期になってからである。女性雑誌『婦人之友』1924(大正3)年4月号には、「新家庭に入用な道具一式」の掲載があり、フライパンなどの西洋式料理具は見当たらないものの、ナイフ・フォークや西洋皿が含まれており、洋式食器が家庭で必要だという認識がすでにあつたようである。下って大正期後半になると、家庭料理の案内本には「鮭のトマト汁」「牛挽肉と馬鈴薯」などの和洋折衷料理とともに、「ライスカレー」「コロッケ」「フライ」「オムレツ」「スチュー(シチュー)」など明らかな洋食が、数多く登場するようになった。

大正期のなかば自発的な食文化の西洋化の後に、「やむを得ない西洋化」とでも呼ぶべき食の大きな変容が起こった時期もある。史料Dは、東京の宮城前広場で開催され、配給米の即時配給、隠匿食糧・米軍放出食糧の人民管理、大資本家の台所の公開などのスローガンを掲げた集会において、準備された文である。

史料D わが日本の元首にして統治権の総攬者たる 5 の前に謹んで申し上げます。

私達勤勞人民の大部分は今日では三度の飯を満足に食べては居りません、空腹のため仕事を休む勤勞者の数は日毎に増加し今や日本の総ての生産は破滅の危機に瀕して居ります。而も現在の政府はこの現状に対し適切手段をとることもなく権力を有つ役人、富を握る資本家や地主たちは食糧や物資を買溜めて自分達だけの生活を守って居るのであります。

このやうな資本家地主の利益代表者たる政府並びに一切の日本の政治組織に対し私達人民はすこしも信頼して居りません。日本の人民は食糧を私達自身の手で管理し日本を再建するためにも私達人民の手で日本の政治を行はうと決心して居ります。(後略)

ここに描かれた食糧難は、農地の荒廃、徴兵・戦死等による農業労働力の不足、輸送および供出・配給制度の混乱に

加えて、植民地からの移入にも依存していた食糧需給体制の解体という、構造的な問題を背景としていた。そのため即時の解決策はなく、主食の米のほかに、小麦・大麦が大量に輸入されるようになった。この時期の食糧「危機」の解消のためにも、それまでの米などの粒食偏重の食生活から、麦類粉食への変更が奨励されたのである。当面の食糧危機が過ぎ去った後も、とくに児童の栄養状態の向上が課題となり、穀類に動物性たんぱく質などの副食を重視して組み合わせる「食生活改善」が議論された。小麦粉食、具体的にはパンや麺を主食とし副食を組み合わせた学校給食は、家庭にパンと乳製品などの消費を定着させ、日本人全体の食生活が西洋化する一因になったとされる。

問1 下線部 a に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア クリ林の管理・増殖が行われた。
- イ ヤマイモなどの保護・増殖が行われた。
- ウ マメ類・エゴマ・ヒョウタンなどの栽培が行われた。
- エ トチノミ・ドングリなどは水にさらしたり、煮てあく抜きをして食べた。
- オ 打製石斧や石匙を用いて植物性食料などをすりつぶした。

問2 空欄 1・2・3 の語の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 1 紫香楽宮跡・2 調・3 酒 イ 1 紫香楽宮跡・2 庸・3 白米
- ウ 1 平城宮跡・2 調・3 白米 エ 1 平城宮跡・2 庸・3 粟
- オ 1 難波宮跡・2 調・3 粟 カ 1 難波宮跡・2 庸・3 酒

問3 下線部 b・c・d の人名・寺院名・書名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア b 栄西・c 建長寺・d 医書大全
- イ b 栄西・c 寿福寺・d 喫茶養生記
- ウ b 俊苅・c 醍醐寺・d 医書大全
- エ b 俊苅・c 泉涌寺・d 喫茶養生記
- オ b 明恵・c 円覚寺・d 医書大全
- カ b 明恵・c 高山寺・d 喫茶養生記

問4 下線部 e に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 簡易な土木技術でできる入浜塩田が九十九里浜沿岸を中心に発達した。
- イ 醤油は西日本の湯浅・龍野、関東の野田・銚子など全国で大量に生産された。
- ウ 江戸時代中期以降になると、伏見・灘をはじめ各地に酒屋が発達した。
- エ 鱧や鯨は干鰯・メ粕などに加工され、商品作物生産に欠かせない肥料となった。
- オ 鰹漁の盛んな薩摩・土佐・伊豆で生産された鰹節は全国向けの特産物となった。

問5 空欄 4・5 に当てはまる字句として、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- ア 4 東京日日新聞・5 天皇陛下 イ 4 東京日日新聞・5 内閣総理大臣
- ウ 4 郵便報知新聞・5 天皇陛下 エ 4 郵便報知新聞・5 内閣総理大臣
- オ 4 日新真事誌・5 天皇陛下 カ 4 日新真事誌・5 内閣総理大臣

問6 『食道楽』および図A・史料Cからうかがえる、明治30年代半ばの富裕層の邸宅や暮らしに関する記述として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア すでに首相を経験した大隈のように、著名な政治家や実業家の屋敷には日常的に多くの客が訪れていた。
- イ 大隈邸のストーブ手前に水道栓が見えるように、大都市には近代的上水道やガスが普及しつつあった。
- ウ コックの制服など働く男性の洋装は増えていたが、上流階級を除き女性は和装が一般的であった。
- エ 当時は国産のセメントやガラスがなく、「上流階級」の屋敷には輸入品が用いられていた。
- オ 兄弥太郎の跡を継いで三菱財閥の基礎を築いた岩崎弥之助邸も、先進的台所のひとつであった。

問7 史料Dが提出された集会はどれか、1つ選べ。

- ア 米騒動 イ 紀元二千六百年記念式典 ウ 農村救済請願運動
- エ 二・一ゼネスト オ 食糧メーデー

問8 下線部fの食糧問題についての記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 食料品・日用品の不足から配給制・切符制が始まり、統制が強まった。
- イ 食糧管理法が公布され、主要な食糧は国の管理が徹底されることとなった。
- ウ ガリオア資金が提供され、食糧などの生活必需物資の緊急輸入が行われた。
- エ 農業基本法が制定され、コメ、畜産、果樹の選択的な生産拡大が図られた。
- オ 生活の西洋化などでコメの消費量が減少し、コメの生産調整（減反）が始まった。

[以下余白]